

7月22日 兵庫県加東市・株式会社マルヤナギ小倉屋 地域活性化・市民の健康増進・農業振興等における 連携協定を締結しました

蒸し豆・煮豆・佃煮メーカーの株式会社マルヤナギ小倉屋（神戸市東灘区:代表取締役社長：柳本一郎）と兵庫県加東市（市長：安田正義）は、2019年7月22日、相互に連携して、SDGsを踏まえた加東市の地域活性化、市民の健康増進、市域における農業振興等に取り組むことで合意し、連携協定を締結いたしました。

加東市での工場操業50年を迎え、更に継続的な取り組みを行うため連携協定を締結

株式会社マルヤナギ小倉屋（1951年創業）は、1969年旧加東郡社町への工場新設から今年で加東市進出50年を迎えました。

2017年からJAみのりと協働し、市内農家でのもち麦栽培を開始。食育活動を始めた取り組みを加東市で行っていたこともあり、今後も加東市と協働し継続的な取り組みを行っていききたいと、協議を進めてまいりました。



兵庫県加東市との連携協定に関する連携事業（抜粋）

- 成人向け・各種団体向けセミナー（サンサンチャレンジ他）や、調理実習・レシピの提供
- 市内小学校での授業及び食育セミナー
- 加東市産もち麦の栽培振興
- 加東市産もち麦の認知度向上と市場開拓（加東市産もち麦商品の販売）
- 高校生によるもち麦利用商品の開発サポート（兵庫県立社高校生徒との共同開発商品他、もち麦の商品開発と販売等）
- 加東市産もち麦の市民モニターによる健康への影響調査
- かとう環境パートナーシップ協定の締結 他



加東市でのもち麦栽培風景



兵庫県立社高校で2019年5月30日に開催されたオリエンテーションの様子（もち麦について学ぶ生徒）